

R3 関東地方整備局流域治水等広報業務 [企画競争入札方式]  
企画提案を特定するための基準

評価項目	評価の着目点		評価のウエイト 高度な企画提案を要する業務	
		判断基準		
企業の経験及び能力	W・L・B等の推進に関する指標についての適	ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として関係法令（女性活躍推進法、次世代育成支援対策推進法、青少年雇用促進法）に基づく認定等の状況	①3.0 ②2.5 ③2.0 ④1.5 ⑤1.0 ⑥3.0 ⑦2.0 ⑧1.0 ⑨3.0	
配置予定技術者（主たる担当者）の経験及び能力	業務経験	配置予定技術者（主たる担当者）の過去10年間の同種又は類似業務の実績	①1.0 ②5 ③特定しない	
	専任性	手持ち業務量	配置予定技術者（主たる担当者）の手持ち業務量（本業務を含まず、特定後未契約のものを含む）が4億円以上または10件以上の場合は特定しない。 数値化しない	
当該業務の実施体制	業務実施体制の妥当性	下記の順位で評価する。 ①同種業務の実績がある。 ②類似業務の実績がある。 ③業務実績が無い場合は特定しない。	数値化しない	
業務実施方針及び手法	業務理解度	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	5	
	実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	5	
	工程表	業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	5	
	その他	有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	5	
		なお、業務の目的が理解されておらず、実施フローや工程表の妥当性が著しく劣る場合は特定しない。	数値化しない	
特定テーマに対する提案	特定テーマ	的確性	・業務内容等で示したと条件との整合性が高い場合に優位に評価する。 ・必要なキーワード（着眼点、問題点、解決方法等）が記述されている場合に優位に評価する。 ・業務の重要度を考慮した提案となっている場合に優位に評価する。 ・業務の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。 ・業務の的確性に著しく欠ける場合は特定しない。	1.0
		実現性	・提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 ・提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。 ・利用しようとする技術基準、資料が適切な場合に優位に評価する。 ・提案内容によって想定されるコストが適切な場合に優位に評価する。 ・業務の実現性に著しく欠ける場合は特定しない。	1.0
		独創性	・これまでの知見に基づく前例のない提案がある場合に優位に評価する。 ・周辺分野、異分野技術を援用した、高度の技術手法の提案がある場合に優位に評価する。 ・複数の既存技術を統合化する提案がある場合に優位に評価する。 ・先進的技術の採用提案がある場合に優位に評価する。	1.0
参考見積	業務コストの妥当性	提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は提案内容に対して見積もりが不適切な場合には特定しない。	数値化しない	

- 同種業務 : 政府機関における広報を実施した業務
- 類似業務 : 行政に関する広報を実施した業務（同種を除く）
- 特定テーマ : シンポジウムの開催記録を活用した流域治水に関する情報発信の提案

## 企画競争方式における特定結果書

1. 業務名 R3関東地方整備局流域治水等広報業務
2. 所属(事務所)名 関東地方整備局河川部河川計画課
3. 企画競争方式
4. 企画提案書の提出要請日 令和3年11月16日
5. 公示日 令和3年11月1日
6. 特定通知日 令和3年12月2日

企画提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
A	×	配置予定技術者の経験及び能力の「業務経験」において、提出資料より確認できないため。
B	×	企画提案を特定するための評価基準に基づき評価した結果、総合的に他社が優位であると判断したため。 具体的には、評価の着眼点のうち、業務実施方針及び手法の「業務理解度」「工程表」「その他」及び特定テーマに対する提案の「的確性」「実現性」「独創性」において他社が優位であると判断したため。
株式会社電通東日本	○	—
D	×	企画提案を特定するための評価基準に基づき評価した結果、総合的に他社が優位であると判断したため。 具体的には、評価の着眼点のうち、業務実施方針及び手法の「業務理解度」「工程表」「その他」及び特定テーマに対する提案の「的確性」「実現性」「独創性」において他社が優位であると判断したため。

**企画競争評価表**

1. 業務名 R3関東地方整備局流域治水等広報業務
2. 所属(事務所)名 関東地方整備局河川部河川計画課
3. 企画競争方式
4. 企画提案書の提出要請日 令和3年11月16日
5. 特定通知日 令和3年12月2日

評価項目	評価の着目点		評価のウエイト	1	2	3	4
				A	B	株式会社 電通東日本	D
				配点	配点	配点	配点
企業の経験及び能力	W・L・B等の推進に関する指標についての適合状況	ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として関係法令に基づく認定等の状況	①3.0 ②2.5 ③2.0 ④1.5 ⑤1.0 ⑥3.0 ⑦2.0 ⑧1.0 ⑨3.0		0	0	0
の術配 経担者置 験当(予 及主定 び)技	業務経験	過去10年間の同種又は類似業務の業務実績	①10 ②5 ③特定しない	特定しない	10	10	10
	専任性	手持ち業務量	数値化しない		適合	適合	適合
当該業務の実施体制	業務実施体制の妥当性		数値化しない		適合	適合	適合
(業務実施方針及び手法 工程表・その他)	業務理解度	目的、条件、内容の理解	5		2.7	4	3
	実施手順	実施手順の妥当性	5		3	3	3
	工程表	業務量把握の妥当性	5		3	4	3
	その他	重要事項の指摘	5		2.7	3.7	3.5
特定テーマに対する提案	特定テーマ	的確性	10		6	8	6
		実現性	10		8	10	8
		独創性	10		6	8	6
参考見積	業務コストの妥当性		数値化しない		適合	適合	適合
計			63		41.4	50.7	42.5